

令和5年度

事業報告書

令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月 31日まで

「令和5年度 事業報告」目次

概 況

〈事業活動〉

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目定事業1）	
（1）浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業	3
（2）検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業	7
（3）不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業	8
（4）浄化槽の機能保証制度に関する事業	8
（5）浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業	9
（6）浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業	11
（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業	13
（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業	13
（9）その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業	15
（10）その他の事業	20
2 計量証明事業（収益事業1）	
（1）計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業	22
（2）分析業務に関する講習会・研修会	22
3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業（収益事業2）	
（1）浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業	22
（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業	23
（3）その他前各号に関連する事業	24
4 管理部門	
（1）法人運営（管理）に関する事業	24
（2）会員関係	26
（3）その他	27
5 附属明細書	28

令和5年度 事業の実施状況

令和5年度の事業計画に基づき実施した事業は次のとおりである。

【公益目的事業1】

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業

(1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業 540,247千円

1) 法定検査実施状況

令和5年度は、稼働人員38名体制で、96,712基（年間計画数96,000基に対し100.8%）の検査を実施した。（P.31～P.39）

区 分	令和4年度 検 査 状 況	令和5年度 検 査 状 況	増 減
検査員数	38名	38名	0名
7条検査	2,443基 (22,445千円)	2,254基 (20,796千円)	△189基 (△1,649千円)
11条検査	93,306基 (513,770千円)	94,458基 (519,451千円)	1,152基 (5,681千円)
合 計	95,749基 (536,215千円)	96,712基 (540,247千円)	963基 (4,032千円)

検査数は、昨年度比で963基増加し、検査手数料収入は540,247千円、前年比4,032千円増となった。検査員の稼働人員は、38名で前年度と同数であるが、継続検査制度を活用し、移動距離を最小限に抑え訪問日を集約することにより、効率的な検査の実施が図られたことが、増加につながった要因といえる。

また、浄化槽台帳システムのDX化への本格運用に向け、令和6年3月から検査員による二次元コードステッカーの貼付を開始しており、今後、関係団体と連携を図りながら、適正な維持管理の推進や受検率の向上に努めたい。

2) 法定検査の受検督促

令和4年度の未受検者に対して、センターからの受検指導の後、各県民局長による行政督促指導を実施した。未受検者への指導方法としては、文書通知のほか、電話や直接訪問を行い、同一施設に対して複数回の受検勧奨を積極的に行った。

前年度未受検 検査実施数： 令和4年度（6,837基）
令和5年度（6,114基）※-723基

※次の①、②の合計数以外に、受検文書通知を送付していない施設（電話勧奨のみ）の受検件数も含んでおります。

①センターによる受検督促

未受検者に対してセンターからの受検案内通知を行ない、電話アポインター（5名）や近隣施設の検査を担当する検査員によって受検勧奨を実施した。その結果は次のとおりである。（P. 40）

<センター受検勧奨>

管 轄	令和4年度		令和5年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	74,049	2,543(3.4%)	73,315	1,259(1.7%)	▲1,284
南部総合県民局	12,904	386(3.0%)	12,926	339(2.6%)	▲47
東部保健福祉局(吉野川)	13,817	222(1.6%)	13,868	204(1.5%)	▲18
西部総合県民局	11,869	371(3.1%)	11,290	809(7.2%)	438
合 計	112,639	3,522(3.1%)	111,399	2,611(2.3%)	▲911

②県民局長による受検督促（文書指導）

センターの受検勧奨後も未受検の施設に対して、各県民局長による受検督促の文書指導を実施し、通知後、電話アポインターや近隣施設の検査を担当する検査員によって再度受検勧奨を行った。その結果は次の通りである。（P. 40）

<行政からの文書指導（設置届出済浄化槽）>

管 轄	令和4年度		令和5年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	45,261	1,041(2.3%)	46,077	1,135(2.5%)	94
南部総合県民局	8,814	359(4.1%)	9,119	335(3.7%)	▲24
東部保健福祉局(吉野川)	6,916	222(3.2%)	6,955	508(7.3%)	286
西部総合県民局	6,439	345(5.4%)	5,910	227(3.8%)	▲118
合 計	67,430	1,967(2.9%)	68,061	2,205(3.2%)	238

<行政からの文書指導（無届浄化槽）>

管 轄	令和4年度		令和5年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	7,439	231(3.1%)	7,547	250(3.3%)	19
南部総合県民局	734	34(4.6%)	999	36(3.6%)	2
東部保健福祉局(吉野川)	1,733	51(2.9%)	1,721	129(7.5%)	78
西部総合県民局	1,312	71(5.4%)	1,309	44(3.4%)	▲27
合 計	11,218	387(3.4%)	11,576	459(4.0%)	72

③電話アポインターによる受検勧奨

センターからの受検通知・各県民局長による督促指導通知に併せて行った電話アポインターの受検勧奨の実績は次のとおりである。（P. 40）

令和5年度は、受検勧奨の曜日や時間帯など、過去の受検指導結果を分析したリストを用いて電話アポイントやテレマ業務（外部委託）を行った結果、電話連絡総数は59,227件の実績であった。依然、未検査のうち半数以上が連絡不通であるため、今後も過去の連絡履歴を分析し精度を上げることによって、受検率向上につながるよう努める。

電話アポインターによる受検指導		電話連絡総数	59,227件
【内訳】	申込済み	3,428件	(5.8%)
	未検査	52,148件	(88.1%)
	休止・廃止	3,651件	(6.1%)

3) 維持管理一括契約協議会

①那賀川を未来へつなぐ協議会

設立後14年目を迎えた那賀町らくらくあんしん協議会(旧称)は、8月に第13回通常総会を開催し、前年度の実績報告・決算報告のほか、協議会名の変更が提案され、令和6年1月1日付で「那賀川を未来へつなぐ協議会」に名称変更することを決定した。

令和5年度の維持管理一括契約は、保守点検や法定検査の実施時に入会勧奨を行うことにより新規契約が14件(総合計896件)となったが、その一方、高齢化に伴う施設への入所や契約者の死亡などにより解除の件数も増加したため、加入総数はほぼ横ばいとなった。

(P.41)

また、特別認定管理士による法定検査(一次検査)の実施は、単独浄化槽286件、合併浄化槽322件の合計608件となった。

<開催事業>

(7月10日) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 会議

(8月2日) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 第13回通常総会

浄化槽設置数(10人槽以下): 2,038基 維持管理一括契約数: 896基(44.0%)

②神山町きれいな水づくり推進協議会

設立後13年目を迎えた神山町きれいな水づくり推進協議会は、6月に第12回通常総会を開催し前年度の実績報告・決算報告を行った。

令和5年度の維持管理一括契約は、保守点検や法定検査の実施時に入会勧奨を行うことにより新規契約が9件(総合計478件)となったが、那賀町と同様に高齢化に伴う施設への入所や契約者の死亡などにより解除の件数も増加したため、加入総数はほぼ横ばいとなった。

(P.42)

また、特別認定管理士による法定検査(一次検査)の実施は、単独浄化槽185件、合併浄化槽96件の合計281件となった。

<開催事業>

(6月9日) 神山町きれいな水づくり推進協議会 第12回総会

浄化槽設置数(10人槽以下): 1,900基 維持管理一括契約数: 478基(25.2%)

4) 浄化槽管理士特別認定制度

認定管理士に対し、1年(優良認定管理士は2年)ごとの更新講習を各地域ごとに開催し、一次検査における精度管理の説明や水質検査機器類のクロスチェックを行った。

- 6月1日 浄化槽管理士特別認定更新講習会(臨時講習会)(2名)
- 8月22日 浄化槽管理士特別認定更新講習会(第1回)(西部地区)(8名)
- 8月23日 浄化槽管理士特別認定更新講習会(第2回)(東部地区)(10名)
- 8月24日 浄化槽管理士特別認定更新講習会(第3回)(南部地区)(5名)
- 9月26日 浄化槽管理士特別認定更新講習会(第4回)(東部地区)(9名)
- 10月19日 浄化槽管理士特別認定更新講習会(第5回)(東部地区)(4名)
- 11月21日 浄化槽管理士特別認定更新講習会(第1種新規)(1名)
- 12月19日 浄化槽管理士特別認定更新講習会(第2種新規)(1名)
- 3月7日 第19回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会

【認定管理士・指定事業所（令和 6 年 3 月 31 日時点）】

認定管理士 — 1 種 11 名、2 種 40 名

指定事業所 — 22 社

【認定管理士による一次検査実績（令和 5 年度）】

1,198 件（那賀町-608 件、神山町-281 件、その他-309 件）



管理士特別認定更新講習会(8/24)



管理士特別認定新規講習会(10/19)

5) 一括契約協議会の推進

市町村単位に設立された一括契約協議会では、海部郡の関係業者による契約推進が行われており、新規契約が 1 3 7 件（総合計 3 9 5 件）増と加入実績が伸びた。

海部郡の取り組み事例を参考に、実績の無い市町村については、実運用に取り組めるよう、一括契約加入時の事務取扱や啓発方法について決定し推進する。

【設立済市町村】

三好市、海部郡(3 町)、美馬市・つるぎ町（合同）、小松島市、勝浦町・上勝町（合同）、那賀町、神山町

6) 継続検査制度の推進

平成 2 8 年度から制度を開始した「継続検査申込制度」は申込の手続きが完了した施設について、センターから返信不要の「訪問予定日通知」を送付し、検査を実施している。

現時点では概ね良好に制度が推移しているが、一部で、転居して転売した施設や、契約者が死去し、使用していない施設の検査が勝手に行われたとの苦情が寄せられるケースも出てきているため、可能な限り設置者と連絡を取り施設の状況を確認するよう対策を講じていきたい。

令和 5 年度末までの「継続検査申込」の申込数は、2 9, 4 1 8 件にのぼっており、1 1 条検査推進に効果を上げた。

7) 「ブロワ交換費補助制度」事業

適正な維持管理を実施する管理者へのインセンティブとして設けた「ブロワ交換費補助制度」では令和 5 年度は 1 3 1 件の補助申請を受け付けた。

なお、このブロワ交換費補助制度については、補助対象件数が計画より低迷し、対象とならなかった管理者から検査拒否などの苦情対応に追われるなど、事業効果に課題があったため、令和 5 年度末をもって当事業を終了することとした。

<ブロワ交換費補助実績> 令和 5 年度の受付
補助対象適用（助成済）： 131 件

(2) 検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業

1) 浄化槽台帳システムに係るDX化の導入に向けた取り組み

浄化槽台帳高度化（台帳整備）事業により台帳の整備が完了したことから、より高度な浄化槽台帳システムの構築を目指し、QRステッカーの様式等の仕様を決定し、DX化の導入に向けた取り組みを進めてきた。

令和6年2月には、県水・環境課の主催により、浄化槽清掃業者の代表者を対象としたキックオフイベント「浄化槽台帳システムのDX化に係る説明会」が開催され、浄化槽法に基づく確実な清掃の実施に向けたこの取り組みに賛同をいただいた。

令和6年度の本格運用に向け、3月からは、当センター検査員によるQRステッカーの貼付を開始している。

○ 2月13日 浄化槽台帳システムのDX化に係る説明会（県庁11階講堂にて）

【事業の目的】

浄化槽本体、浄化槽管理士、浄化槽層設備士、清掃実務者、検査員のID化を図り、DX技術を活用、清掃や保守点検、浄化槽施工状況を正確に把握し、浄化槽の適正な維持管理や施工、合併浄化槽の普及促進につなげる。

【システム概要】

浄化槽の設置箇所に登録ステッカー（QRコード）を貼り付け、各作業の終了時において、作業員がQRコードを端末で読み込み送信することにより、自動的に作業状況を浄化槽台帳に入力

【ステッカー詳細】



2) 徳島県委託事業「浄化槽情報関係集約化事業」

(8,180千円)

令和5年度は4支所で新設浄化槽2,179基（うち25基は取下げ・廃止届提出）の設置届出書及び計画書を受け付け、昨年度と比較し、208基減となった。一方、検査実施後の指導により、無届浄化槽の届出が80基あった。

「浄化槽維持管理標準契約書」（以下「標準契約書」という）については、申請に併せて1,962基分（前年度比186基減）の契約書を受け付けた。

その他の浄化槽に関する各種申請受付状況はP.43～P.45のとおりである。

3) 浄化槽台帳の運用事業

「浄化槽台帳の運用」を目的に、無届浄化槽の新規登録や市町村からの提供資料（下水道台帳）を突合し、廃止届出書の提出が無い浄化槽の確認を行い、データ整備を行った。今後は、「浄化槽台帳システムのDX化」の導入により、未受検施設を含む清掃実施情報を収集し入力を行う。

□無届浄化槽の新規登録件数：133基

□下水道台帳により確認した廃止浄化槽：92件

(3) 不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業

1) 不適正浄化槽の指導と改善状況

法定検査で不適正となった際には、検査結果書により改善を促し、さらに、改善報告のない浄化槽に対しては、関係行政機関（県水・環境課、県民局（福祉局）、土木、市町村）から文書による改善指導を行っている。令和5年度における関係行政機関からの改善指導はP.46のとおりである。

不適正と判定された浄化槽15,087基（指導項目総数15,599項目）に対し、改善指導を行った結果、令和6年3月末までに、3,305基（3,345項目）の改善報告を受け付けた。

関係行政機関別の内訳は次のとおりである。

指導する関係行政機関	指導対象	主な指摘内容	指導項目数	改善報告数	改善確認数
県 水・環境課	保守点検業者	保守点検不備	7,692 件	2,601 (33.8%)	-
保健福祉局・県民局	浄化槽管理者	無管理等	6,694 件	617 (9.2%)	-
土木事務所・特定行政庁	浄化槽管理者	破損等	514 件	116 (22.6%)	70 (13.6%)
市町村	清掃業者	清掃不備	699 件	11 (1.6%)	-
合 計			15,599 件	3,345 (21.4%)	

※破損等（土木事務所指導分）の改善報告については、再度現場にて改善確認を行っている。

改善報告率は年度途中のため低い数値であるが、最終的には25%程度の数値となると思われる。

2) 浄化槽技術検討委員会

センターでは、水質改善に関する調査研究対象として、不適正浄化槽の中から水質が悪化している浄化槽で、且つ原因が不明なものを選び、保守点検業者等と連携を図りつつ二次検査の実施を行っている。

実施件数及び結果は下記のとおりであり、結果については設置者・保守点検業者に連絡済である。

<浄化槽技術検討委員会の開催>

機能評価部会 : 4/25、6/20、8/24、10/26、12/26、3/1

クロスチェック部会 : 6/20、10/25、3/6

水 質 悪 化 原 因	件数	二 次 検 査 内 容
循環水量の調整不備	4件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
ホフイスの詰まりによる循環水量の低下	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
循環・汚泥移送装置の設定不良	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
流入BODの高負荷・使用水量の過多	4件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
サカマキガイの発生による	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
合 計	5件	

3) 浄化槽の实地調査事業

(实地調査事業)

毎年、(公財)日本環境整備教育センターが合併処理浄化槽設置整備事業として行う「国庫補助指針の要件に適合した浄化槽の実態調査」の委託を受け、2件の調査を行った。

(4) 浄化槽の機能保証制度に関する事業

2,162千円(機能保証登録料)

令和5年度は全浄連が行う機能保証制度の登録申請書826基(取下除く)を受付し、全浄連及び管轄の市町村には、保証制度登録者受付台帳を送付した。また、設置者には、機能保証登録証とともに適正な維持管理のパンフレット及び「標準契約書」の控えを送付し、使用開始後の適正な維持管理についての周知を図った。(P.47)

	令和4年度		令和5年度		前年度対比 (取下除)
	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ	
書類申請	736基	15基	724基	21基	12基減
電子申請	128基	3基	102基	1基	26基減
合計	864基	18基	826基	22基	38基減

なお、令和5年度は機能保証制度利用申請が2件あった。

【機能保証の申立件数・・・2件】

保証申立日	地域	状況	結果
令和5年 9月5日	三好市 (H30.8.1使用開始)	清掃作業時において、嫌気ろ床槽の移流パツフルの変形及びろ材の流出を確認。	機能保証制度地方審査委員会で原因は不明であるが通常の維持管理で生じる異常ではなく「原因者が特定できない瑕疵が発生」として保証の対象とすることを決定。
令和5年 9月7日	徳島市 (R1.5.20使用開始)	保守点検実施時に（接触ろ床槽又は処理水槽）の漏水を確認。	機能保証制度地方審査委員会で通常の保守点検作業で生じる異常ではなく、「原因者が特定できない瑕疵が発生」として保証の対象とすることを決定。

(5) 浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認検査等の事業

1) 浄化槽なんでも相談窓口

浄化槽の普及や適正な維持管理の推進を目的として、センター内に「浄化槽なんでも相談窓口」を設置し、県民や行政担当者、関係業者からの「疑問」や「相談」など浄化槽に関する幅広い問い合わせに対応し、サービスの拡充を図った。

<浄化槽なんでも相談窓口内容（令和5年度）>

相談件数：84件

相談内容内訳：浄化槽工事について 13件
 浄化槽維持管理について 33件
 浄化槽の届出について 20件
 その他について 18件

2) 浄化槽にかかる普及啓発事業

浄化槽に関する普及啓発事業として下記事業を行った。

<浄化槽月間 啓発活動>

県主催による浄化槽月間街頭啓発活動に参加し、パンフレットの配布やアンケートの実施を行った。

- 10月23日 ショッピングプラザアピカでパンフレットの配布
- 10月26日 マルナカパワーシティ鴨島店でパンフレットの配布
- 10月27日 フレスポ阿波池田でパンフレット配布・アンケートの実施
- 10月27日 マルナカ三加茂店でパンフレット配布の実施
- 2月22日 マルナカ脇町店でパンフレット配布の実施

浄化槽月間 啓発活動



(アピカ (阿南市) 10/23)



(マルナカ鴨島店10/26)



(フレスポ阿波池田 10/27)



(マルナカ三加茂店 10/27)



(フジグラン石井 10/27)



(マルナカ脇町店 2/22)

3) 支所窓口 (県内4支所)

- ①窓口業務として、来所する設置者や業者を対象に専門的な知識を持っている職員が浄化槽の適正な施工や維持管理等に関する相談に随時対応した。
- ②県の委託事業である、浄化槽関係書類の受付業務として、届出された設置届出書等の内容を審査し、浄化槽設置者データを登録、設置者には受理通知書を送付した。
- ③設置届けに添付が義務づけられた「標準契約書」については、50人槽以下の浄化槽全ての添付を確認し、維持管理を行う業者には契約手続き完了の通知を行った。
- ④申請のあった浄化槽管理者に対し、7条及び11条検査の申込書、設置届出書(又は計画書)及び、標準契約書(50人槽以下)もしくは検査誓約書・契約書(51人槽以上)の控えや検査料払込証明書、設置情報確認書などを発行又は送付した。

4) 浄化槽設置に係る確認検査 (821千円)

令和5年度の委託事業として、下記市町の浄化槽設置確認検査及び事前審査を行った。

市町村	事業内容	令和4年度	令和5年度	前年度対比
徳島市	設置事前検査業務	43基	61基	18基増
	設置確認検査業務	45基 (243千円)	60基 (331千円)	15基増 (88千円増)
東みよし町	中間検査業務	48基	48基	
	完了検査業務	53基 (577千円)	41基 (489千円)	12基減 (88千円減)

5) その他の啓発

インターネットによるホームページを活用し、浄化槽のしくみや正しい知識に関する情報を適時に掲載し、浄化槽の適正な施工及び維持管理の普及啓発に努めた。

(6) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業

1) 浄化槽教室の開催

新しく浄化槽の設置届出手続きをした方を対象に浄化槽教室を開催し、受講者には受講証明書を発行した。また、市町村担当課には、受講者台帳を送付した。(P.48)

令和5年の受講者数は1,172名で、そのうちWEB受講が978名(57.1%)、会場での受講は194名(11.3%)となり、利便性の面からもWEB受講の利用が多くなっている。

この教室は、浄化槽に関する知識を習得し、適正な維持管理に繋げるための非常に有効な研修機会として捉えており、受講の効果を検証しながら構成内容もさらに充実していきたい。

	令和4年度	令和5年度	差異
対象数	2,395基	1,713基	▲369基
開催回数	28回	21回	▲7回
受講者数 (内訳)	1,382名(57.7%)	1,172名(68.4%)	▲210名
会場受講	203名(14.7%)	194名(16.6%)	▲9名
WEB受講	1,179名(85.3%)	978名(83.4%)	▲201名

※対象者数：令和5年4月～令和5年8月末に設置申請が提出された件数です。

令和5年2月～令和5年3月末に設置申請されたうちの教室未受講者



津田会場(7/22)



吉野川会場(11/11)

2) 行政担当者向け研修会の開催

年度を区切りとして、各市町村の浄化槽担当者が交代するため、行政担当者を対象にセンター主催で「行政担当者説明会」を実施し、浄化槽に関する各種情報を提供した。

【令和5年度 行政担当者説明会】

- 日 程 : 令和5年6月30日
開催場所 : (公社)徳島県環境技術センター4階
出席人数 : 市町村行政関係者24名
内 容 : ・浄化槽の基礎知識について
・法定検査実施状況について
・公共浄化槽及び協議会地区の状況について



令和5年度行政担当者説明会(6/30)

3) 徳島県浄化槽保守点検業者登録条例に基づく浄化槽管理士研修の開催

「徳島県浄化槽保守点検業者登録条例」に基づき、浄化槽保守点検業に登録する浄化槽管理士への研修会受講が義務付けられており、当センターは県から研修会実施の指定機関として、以下の日程で浄化槽管理士研修を行った。

- 開催日程：第1回 8月31日 (36名受講) (会場：徳島県環境技術センター)
第2回 11月14日 (36名受講) (会場：徳島県環境技術センター)
第3回 2月15日 (34名受講) (会場：徳島県環境技術センター)

○内 容：【浄化槽管理士の研修プログラム】

<全国共通枠>

- I 浄化槽行政の動向
- II 浄化槽の構造と機能
- III 浄化槽の保守点検と清掃

講師：(公財)公益財団法人日本環境整備教育センター
講習事業グループサブリーダー 武田 文彦 氏

<地方枠>

IV 地域における浄化槽情報

○法定検査に関して

講師：公益社団法人徳島県環境技術センター
事業推進部長 川原浩二

○浄化槽に関する施策展開と普及状況

講師：徳島県県土整備部水・環境課
主任主事 林 貴大 氏

浄化槽管理士研修会



徳島県環境技術センター会議室(8/31)

(7) 浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業

1) 機関誌「みどり」

浄化槽に関係する最新情報や各種データ等を掲載した月刊機関誌「みどり」を発行し、各行政機関等へ配布するとともに、当法人の4支所にも備え置き、一般の方にも提供し、同時にこの情報は当法人のホームページにも掲載した。

2) 全浄連ニュース

浄化槽に関する最新情報を提供するため、全浄連が作成発行している「全浄連ニュース」を各関係機関に無償配布した。

3) その他の情報提供

各市町村が行う補助事業の補助額や必要書類について調査を行い、その情報を取り纏めた一覧表を作成し、関係者に配布した。

(8) 地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業

1) 「とくしま浄化槽連絡協議会」への参画

<第7回とくしま浄化槽連絡協議会(8月29日開催 徳島県合同庁舎)>

これまでの各部会の成果や汚水処理における浄化槽の整備状況について報告されたほか、センターで検討していた浄化槽台帳システムのDX化など、新たに「取り組む3つの柱」が議場に示され、これらを今後の検討事項として取り組む方針となった。

<取り組む3つの柱>

- 柱①：浄化槽管理の信頼性の向上
- 柱②：持続可能な汚水処理システムの構築
- 柱③：災害時の広域連携強化

<第8回とくしま浄化槽連絡協議会(12月4日開催 徳島県合同庁舎)>

「浄化槽台帳システムのDX化に向けた取り組み状況」や「災害支援協定に基づく防災訓練への参加」など、これまでの各部会の成果や環境省からの報告のほか、協議会で取り纏めた「国への要望書案」が示された。

<要望書案の概要>

- ①高齢化社会、人口減少を見据えた浄化槽管理に係る施策
- ②合併処理浄化槽の普及促進につながる施策
- ③浄化槽台帳システムに係る施策

また、導入から11年が経過する「浄化槽維持管理標準契約書制度」については、多くの課題や要望が寄せられていることから、今後、改善に向けた取り組みを行うこととした。

とくしま浄化槽連絡協議会とは
 浄化槽法改正に伴い、令和2年8月に県水・環境課の主導のもと設立された協議会。
 この協議会は、県および市町村の担当者、工事業者、浄化槽清掃業者、浄化槽保守
 点検業者、指定検査機関、メーカー、市町村設置型浄化槽整備特別目的会社など、
 官民の幅広い関係者で構成。この組織を通じて、地域における浄化槽に関連する様
 々な課題の解決に向けた共同を進めている。

2) 合併浄化槽転換推進事業

① 徳島市合併浄化槽転換推進事業

(517千円)

徳島市合併浄化槽転換推進事業では、検査員が単独浄化槽の設置者に対し、合併浄化槽のパンフレットを配布又は利点を説明し、合併浄化槽への転換を勧めた。

この転換推進は、毎年ほぼ同じ設置者に対し啓発しているのが現状で、効果の低下が懸念されることから市と協議を行い、今年度はパンフレットの内容を変更して推進している。

転換推進啓発内容	令和4年度	令和5年度	前年度対比
パンフレット配布業務	4,742件	5,728基	986基
合併への転換説明業務	1,590件	1,848基	258基
啓 発 数 計	6,332件	7,576基	1,244基

<参考>徳島市設置事前検査における設置・転換状況

	～28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	累計
設置	1,214	563	574	0	0	0	0	0	2,351
転換	119	49	44	45	71	83	43	61	515

転換啓発用パンフレット
 (徳島市)



②鳴門市 浄化槽転換推進業務

(7千円)

鳴門市では、大麻町と北灘町の単独浄化槽を設置した住宅に対して、市が作成した合併浄化槽パンフレットを検査時に配布し、またその利点を説明して合併浄化槽への転換を勧めた。

【 配布業務177件 説明業務16件 】

③三好市・東みよし町 浄化槽転換推進事業業務

(116千円)

浄化槽 PFI 事業を導入している三好市と東みよし町では、三好市では10人槽以下の単独浄化槽設置者、東みよし町では全ての単独浄化槽設置者に対し、検査結果書と共に転換啓発用パンフレットを発送した。

三好市 1,348件 東みよし町 979件

3) 全浄連 浄化槽システムの脱炭素化推進事業

(372千円)

全浄連の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(浄化槽システムの脱炭素化推進事業)の実施にあたり、センターが県内の受付窓口を行った結果、令和5年度は10件の申請を受け付けた。

<申請受付状況>

- (1) : 30人槽以上の既設合併処理浄化槽に付帯する電動機器の高効率機器改修事業
 - 受付件数 10件
 - 補助金申請額 9,188,000円
- (2) : 30人槽以上の既設合併処理浄化槽から省エネ型浄化槽への本体交換事業
 - 受付件数 0件
- (3) : 上記(1)又は(2)事業と併せて実施する再生可能エネルギーの導入事業
 - 受付件数 0件

(9) その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業

1) 災害支援活動に向けた取り組み

令和5年3月、県と浄化槽関係4団体で締結した「大規模災害・事故等時におけるし尿等の収集運搬及び仮設トイレの設置等に関する協定書」に基づき、毎年9月1日の「防災の日」に徳島県が実施する「徳島県総合防災訓練」や「徳島県防災図上訓練」に参加した。

①徳島県総合防災訓練への参加

- 開催日時：令和5年9月1日(金)
- 訓練場所：まぜのおか(徳島県海部郡海陽町浅川)
- テーマ：「孤立を想定した災害対応力の強化」
(行政区画をまたぐ孤立地域の救援・救助活動)

○訓練内容

- ・市町村を跨いだし尿の収集・運搬訓練
- ・仮設トイレ・マンホールトイレ・モバイル式地上設置型浄化槽の設置訓練および展示



令和5年度徳島県総合防災訓練(9/1)

②徳島県防災図上訓練の参加

県の「徳島県防災図上訓練」では、県から発出される仮設トイレやし尿の収集運搬の要請に対し、センターが窓口となって関係団体・会員企業への支援要請の伝達を行った。

- 1月17日 徳島県防災図上訓練に参加

2) 「みなみから届ける環づくり会議」への参加

企業、民間団体、研究機関、行政などの15団体と3名の研究者が、県南で環境課題の解決を目標に活動している産学官民の協働体である。当センター担当者は幹事として参画し、各種イベントの開催について協議を行ってきた。

【会議への参加】

- 4月26日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議 (WEB会議)
- 6月15日 みなみから届ける環づくり会議総会
- 6月20日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議 (WEB会議)
- 7月27日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議 (WEB会議)
- 8月22日 第2回臨時総会
- 8月25日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議 (WEB会議)
- 10月25日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議 (WEB会議)
- 3月12日 みなみから届ける環づくり会議 水質WG会議

【イベントへの参加】

- 7月29日 「夏休み出動！川の調査探検」(阿南市三谷川・打樋川)
- 11月11日 水の調査研究(阿南市 日亜化学工業株式会社本社)



「夏休み出動！川の調査探検」(7/29)



水の調査研究(11/11)

3) 環境学習の取り組み

学校教育において、環境学習に熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう活動を行った。

また、学校以外に、各地域で取り組む環境保全活動において、講師として招かれ、水環境保全や浄化槽についての講演を行った。(小学校-20回 高校-1回 計21回)

【環境学習への取り組み】

- | | |
|----------------|--------------|
| 5月16日 科学技術高等学校 | 6月23日 高志小学校 |
| 6月27日 知恵島小学校 | 6月28日 城東小学校 |
| 7月4日 西麻植小学校 | 7月5日 宝田小学校 |
| 7月7日 鴨島小学校 | 7月11日 小松島小学校 |
| 7月12日 藍畑小学校 | 7月13日 加茂名小学校 |
| 7月19日 桑島小学校 | 7月20日 広野小学校 |
| 8月29日 板野西小学校 | 8月30日 池田小学校 |
| 8月31日 伊沢小学校 | 9月6日 津乃峰小学校 |
| 9月12日 川内南小学校 | 9月14日 江原南小学校 |
| 9月15日 御所小学校 | 10月12日 橘小学校 |
| 10月18日 助任小学校 | |



科学技術高校 (5/16)



高志小学校 (6/23)



知恵島小学校 (6/27)



城東小学校 (6/28)



西麻植小学校 (7/04)



宝田小学校 (7/05)



鴨島小学校 (7/07)



小松島小学校 (7/11)



藍畑小学校 (7/12)



加茂名小学校 (7/13)



桑島小学校 (7/19)



広野小学校 (7/20)



板野西小学校 (8/29)



池田小学校 (8/30)



伊沢小学校 (8/31)



津乃峰小学校 (9/06)



川内南小学校 (9/12)



江原南小学校 (9/14)



御所小学校 (9/15)



橘小学校 (10/12)



助任小学校 (10/16)

4) 「浄化槽の日」ポスターコンクールの開催

未来を担うこどもたちに、水の大切さを知ってもらうため夏休み課題のポスターを募集した。今年度は82作品の応募があり、10月5日に優秀作品を選考し、11月20日には徳島県政策監による表彰状の授与式を行った。

尚、優秀作品については、県庁で一般公開したほか、令和6年度のカレンダーに活用し、小中学校に配布した。

- 7月～9月 県内小中等学校へ作品の募集
- 9月 5日 応募締切 (82作品：小学校55点、中学校27点)
- 9月 4日～15日 令和4年度「浄化槽の日」ポスターコンクール優秀作品展示 (県庁)
- 10月 5日 応募作品審査会 (応募82点 最優秀-2点、優秀-6点、佳作-20点)
- 11月22日 徳島グランヴィリオホテルにて優秀作品表彰式
- 12月 4日～15日 徳島県庁にて優秀作品の展示

令和5年度「浄化槽の日」ポスターコンクール



(小学校の部 最優秀作品)



(中学校の部 最優秀作品)



(表彰式で政策監と記念撮影)

5) 「水すまし隊」による活動

県内のこどもたちに「水の大切さ」や「環境を守っていくこと」の重要性を知ってもらうため、センターの若手職員が中心となって、様々なイベントを企画し、幅広い啓発ができた。また、ホームページのブログでは、水すまし隊の活動報告や個々のメンバーからの報告を掲載した。

- 4月 2日 津田地区「六右衛門祭り」
地域の活性化に貢献するため、スーパーボールすくいを行い、同時に浄化槽の適正な維持管理を啓発した。
- 6月 3日 あすたむらんど エコ工作 『ストローでアイロンビーズ工作～マイクロプラスチックを考えよう～』
使い終わったストローで、アイロンビーズ工作を行った。
- 6月10日 ネイチャーゲーム全国大会 IN 徳島
放置された竹を利用し、からくりおもちゃ（ウサギの餅つき）作った。
- 7月30日 あすたむらんど「水の日イベント～竹のてっぽうで花に水やりを～」
手作りの竹の水鉄砲やペットボトルじょうろを用いて、ため池の水を花壇に散水し、水の循環について学んでもらった。
- 11月 4日 サイエンスフェア2023 おもしろ博士の実験室
使用済のペットボトルを用いて、虫笛を作った。



六右衛門祭り (4/2)



あすたむらんど月間イベント (6/3)



ネイチャーゲーム全国大会 (6/10)



あすたむらんど「水の日イベント」 (7/30)



サイエンスフェア 2023 (11/4)

6) 清掃活動

徳島市パークアドプト清掃活動に参加し、津田海岸町の公園で除草や清掃を実施し、地域の美しい憩いの場を確保した。

活動実施日：5月26日、9月14日、2月15日、3月26日

7) 「リフレッシュ瀬戸内」への活動参加

国、県、市町村等関係機関で構成する瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会の事業であり、センターも積極的に協力している。

- 5月18日 金磯海岸水質検査の実施
センターの協賛事業として横須金磯海岸付近の水質検査を実施し、分析結果の報告を行った。
- 6月10日 「リフレッシュ瀬戸内」清掃ボランティア活動の参加
役職員合わせて約50名が参加し、横須・金磯海岸の清掃奉仕活動を行うとともに、参加者にセンターオリジナルのうちわを配布し、浄化槽の適正な維持管理の啓発を行った。



リフレッシュ瀬戸内清掃ボランティア活動(6/10)



パークアドプト清掃活動(9/14)

8) CSR (企業の社会的責任) 活動の報告について

ホームページ上に上記活動をCSR活動報告として公開した。

URL : <https://www.tokushima-env.jp/contents/csr/index.html>

(10) その他の事業

1) 職員の技術向上

職員の技術向上を徹底するため、積極的に研修会・講習会に参加し、能力・知識の向上に努めた。

- 6月12日～24日 浄化槽管理士講習(1名)
5月31日 検査員基礎知識試験(検査員)
7月14日 安永エアポンプ(株)による浄化槽ブロワ講習会(検査員)
9月13日～19日 浄化槽検査員講習(1名)
11月9日 リコーDXビジネストrend 2023 in KANSAI
11月10日 徳島県環境整備事業協同組合主催 浄化槽実務者研修会
11月12日～13日 令和5年度障害者職業生活相談員資格認定講習
1月22日 徳島市企業体人権問題研修会
2月21日・3月8日 「公益法人制度改革について」(Zoom)

2) 個人情報取扱に関する取り組み(プライバシーマーク制度)

センターは、JIS規格に適合した個人情報マネジメントシステムを構築し、それに基づく適正な運営を実施、プライバシーマークの認定を受けている。また、全職員を対象とした月一回のe-ラーニングや個人情報に関する理解度確認テストなどの体制を整え、継続的な業務の精度向上を図っている。

1月18日～19日 コンプライアンス研修
2月28日 プライバシーマーク内部監査



3) エコアクション21の取り組み

また、同様に認証を受けているエコアクション21についてもマネジメントシステムを遵守しながら、廃棄物排出量や節電等、環境への取り組みを行っている。

今年度は8月に更新現地審査が行われ、合格した。

8月10日 エコアクション21 更新審査



4) 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会

4月18日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会総会（徳島）

9月14日～15日

検査機関四国地区協議会検査員研修会（香川）

11月11日 第14回検査機関四国地区協議会ソフトボール大会（徳島）

11月22日 令和5年度九州地区浄化槽検査員研修会（宮崎）

1月24日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会合同役員会（徳島）

2月27日～28日

全浄連会員団体事務局長会議（東京徳島）



全浄連四国地区協議会総会(4/18)



四国地区協議会検査員研修会(9/14・15)



四国地区協議会ソフトボール大会(11/11)



四国地区協議会合同役員会(1/24)

【収益事業1】

2 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

- (1) 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業 39,106千円(計量証明手数料)
濃度計量証明事業として特定事業場排水の分析を主に水質分析を実施した。
令和5年度の証明件数は3,102件で売上げは39,106千円であった。
(前年度比 売上額:2,090千円増) (P.49)

(2) 分析業務に関する講習会・研修会・会議等

<研修会・講習会>

- 6月23日 令和5年度徳島県計量協会通常総会
10月6日 水質計測器維持管理講習会
1月29日 環境計量証明事業者クロスチェック事業結果検討会
2月13日 計量証明事業規程細則10.3に基づく研修会

【収益事業2】

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業

(1) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業

1) 浄化槽管理士講習の開催

公益財団法人日本環境整備教育センターからの委託により、下記スケジュールにて浄化槽管理士講習(徳島会場)及び浄化槽技術管理者講習を実施した。

- 6月12日～ 6月24日 浄化槽管理士講習(徳島会場)
(受講者88名 修了者78名)
- 12月13日～ 12月15日 浄化槽技術管理者講習(徳島会場)
(受講者63名 修了者58名)



浄化槽管理士講習(6/12～24) 浄化槽技術管理者講習(12/13～15)

2) 徳島県浄化槽管理士会との共催事業

県内の保守点検業者・清掃業者等の業界関係者を対象に、徳島県浄化槽管理士会との共催で令和5年度浄化槽技術講習会を開催した。

【令和5年度 浄化槽技術講習会】

開催日: 令和5年11月18日(土) 午前・午後の計2回開催

会場: (公社) 徳島県環境技術センター

講義: 汚濁負荷の高い大型浄化槽(51人槽以上)の構造及び維持管理について
(講師) 株式会社ダイキアクシス

3) 徳島県浄化槽設備士会との共催事業

センター会員・徳島県浄化槽設備士会会員等の業界関係者を対象に、徳島県浄化槽設備士会との共催で令和5年度浄化槽工事技術講習会を開催した。

【令和5年度 浄化槽工事技術講習会】(参加者：12名)

開催日：令和6年2月3日

会場：徳島県環境技術センター4階会議室

講義：労働災害の予防と医療従事者が教える身体のメンテナンス
(講師) 整体師 宮下賢太郎 氏

4) 会員従業員の資格取得の支援

会員従業員に高い知識や技能、技術力を身につけてもらうため、資格取得に関する試験対策講座を開催した。

○6月2日(金)～3日(土) 浄化槽設備士「試験対策講座」(10名)

(講師：株ハウステック)

○6月23日(金)

浄化槽管理士「合格に向けた対策塾」(21名)

(講師：徳島県環境技術センター河本検査副部長)



(2) 浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業

1) 保証登録電子申請

保証登録申請書の電子申請によって、浄化槽工事業者に対する申請から登録証明書発行までの事務の効率化により、期間が短縮された。

2) プレキャストコンクリート底板の販売

令和5年度のプレキャストコンクリート底板(PC底板)の売上は7,931千円であった。(昨年度比 △293千円)

また、販売する底板の品質を十分確保するため、定期的に製造工場で見学を行っている。

7,931千円

底板等種類	販売数量	売上金額
5人槽(1枚もの)	394枚	6,072千円
5人槽(2分割)	4枚	72千円
7人槽(1枚もの)	73枚	1,503千円
7人槽(2分割)	2枚	45千円
ブロワ台	120台	199千円

(3) その他前各号に関連する事業

各種用紙及び物品等の販売事業

区分	品名	数量	金額
各種用紙 書籍販売	浄化槽設置届出書・計画書	2,528 部	505 千円
	標準契約書	2,039 部	407 千円
	浄化槽変更計画書・変更届出書	71 部	14 千円
	標準保守点検記録票	1,855 部	1,393 千円
	標準清掃記録票	349 部	219 千円
	工事業・特例工事業申請書	3 部	1.5 千円
	保守点検業登録申請書	10 部	9 千円
	その他	20 部	18 千円
機器販売	鍵付万能フック (30cm)	1,055 本	1,412 千円
	鍵付万能フック (44cm)	820 本	1,456 千円
	その他	—	173 千円

【その他の事業】

4 管理部門 (法人)

(1) 法人運営に関する事業

1) 監査・総会の開催

【会計・業務監査】

- 4月24日 令和4年度の会計監査・業務監査を行った。
- 10月30日 令和5年度上半期の会計監査・業務監査を行った。

【定時社員総会】

- 5月30日 第13回定時社員総会を開催し、令和4年度の事業報告・決算報告を行った。



会計及び業務監査(4/24)



第13回定時社員総会(5/30)

2) 常任理事会・理事会の開催

センターの運営にかかる議題をもとに常任理事会・理事会を開催した。
・常任理事会 (12回)、理事会 (12回)

3) センター地区報告会・所属部会の開催

【センター各種部会】

各業界の課題解決を目的として、センター所属部会を開催した。

- 清掃部会 : 11月 1日 (水) 13名出席
- 保守点検部会 : 11月 1日 (水) 9名出席
- 施工部会 : 11月13日 (火) 11名出席
- メーカー部会 : 11月15日 (水) 6名出席

- 議事：(1)徳島県環境技術センターの「要望」とその対応状況
 (2)浄化槽台帳システムのDX化に向けた
 QRコードステッカーの導入と協力依頼について
 (3)浄化槽関係届出書類の電子申請導入について
 (4)災害支援体制の構築について
 (5)浄化槽維持管理標準契約書制度の現状課題について
 (6)センター事業について（プロワ交換費補助金交付制度）
 (7)その他について

【会員地区報告会】

旧支部地区単位で会員地区報告会を開催し、センター事業の実施報告や意見交換を行った。

- 小松島地区：11月21日(火) 5社出席
 ○鳴門地区：11月27日(月) 3社出席
 ○徳島地区：12月1日(月) 13社出席
 ○美馬地区：12月12日(火) 2社出席
 ○三好地区：12月14日(木) 3社出席
 ○阿南地区：12月19日(火) 2社出席
 ○海部地区：12月22日(金) 3社出席

- 議題：(1)徳島県環境技術センターの要望とその対応状況
 (2)災害支援体制について
 (3)その他 センター事業について

4) 全浄連関係会議

【正副会長会】

- 5月10日 全浄連 正副会長会（第1回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 6月27日 全浄連 正副会長会（第2回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 8月3日 全浄連 正副会長会（第3回）（WEB会議）に出席した。
 1月23日 全浄連 正副会長会（第4回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）

【浄化槽ビジョン検討会】

- 7月28日 2023 浄化槽ビジョン検討会（第1回）（WEB会議）に出席した。
 9月5日 2023 浄化槽ビジョン検討会（第2回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 10月6日 2023 浄化槽ビジョン検討会（第3回）（WEB会議）に出席した。
 10月24日 浄化槽ビジョン方向性検討会（WEB会議）に出席した。
 11月8日 2023 浄化槽ビジョン検討会（第4回）（WEB会議）に出席した。
 12月7日 2023 浄化槽ビジョン検討会（第5回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 3月25日 2023 浄化槽ビジョン検討会（第6回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）

【総会・理事会・委員会・その他】

- 5月2日 全浄連 事業委員会（第1回）（WEB会議）に出席した。
 5月29日 全浄連 理事会（第46回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 6月27日 全浄連 定時総会（第11回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 7月20日 全浄連 事業委員会（第2回）（WEB会議）に出席した。
 8月22日 全浄連 理事会（第48回）（WEB会議）に出席した。
 10月2日 第37回「浄化槽の日」全国浄化槽大会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）

- 1 2月19日 全浄連 事業委員会打合せ（WEB会議）に出席した。
 1月25日 全浄連 事業委員会（第3回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
 3月27日 全浄連 理事会（第52回）に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）

（2）会員関係

令和5年度において、1社が入会し、4社の会員が退会した。

<会員の入・退会状況>

令和6年3月31日現在

地 区	会員数	入会会員	退会会員	差引会員数	備 考
徳 島	57社	1社	0社	58社	
鳴 門	9社	0社	0社	9社	
小 松 島	8社	0社	0社	8社	
阿 南	17社	0社	1社	16社	
海 部	7社	0社	0社	7社	
阿 北	8社	0社	0社	8社	
美 馬	10社	0社	0社	10社	
三 好	23社	0社	2社	21社	
メーカー	12社	0社	1社	11社	
合 計	151社	1社	4社	148社	

<入会会員>

地 区	会 員 名	代 表 者	入 会 日	部 会
徳 島	(有)管建	島藤 将紀	R05.10.16	施 工

<退会会員>

地 区	会 員 名	代 表 者	退 会 日	部 会
三 好	阿波バーナー商会	大森 彦人	R05. 9.30	施 工
阿 南	(有)星光産業	植松 丈夫	R06. 3.31	施 工
三 好	阿波みよし農業協同組合	大西 常夫	R06. 3.31	施 工
メーカー	積水ホームテック(株)西日本支店四国営業所	吉谷 圭生	R06. 3.31	メーカー

<会員内訳>

地 区		施 工	保守点検	清 掃	合 計
東 部	徳 島	27社(1)	23社(2)	11社(2)	60社(5)
	鳴 門	7社	2社	0社	9社
	小 松 島	5社	0社	3社	8社
	阿 北	2社	0社	6社	8社
南 部	阿 南	13社	3社(2)	2社(2)	19社(4)
	海 部	3社	3社	1社	7社
西 部	美 馬	7社	1社	2社	10社
	三 好	15社	5社	1社	23社
メーカー					11社
合 計		79社(1)	37社(4)	26社(4)	153社(9)

※複数部会所属会員はそれぞれ部会毎に1社として計算している。
 カッコ内の数字は複数部会に所属する会員数

(3) その他

1) 許認可に関する事項

- ①徳島県告示第255号浄化槽法に基づく法定検査機関の指定（昭和62年3月27日）
- ②計量証明事業登録（平成12年12月14日 第74号）
- ③建築物飲料水水質検査事業（平成26年2月17日 徳島県東保26水 第1号）

2) 変更認定申請書

役員変更に伴う変更届出書を提出（令和4年6月13日）

3) 役員等に関する事項

（令和6年3月31日現在）

役 職	氏 名	勤務体系	所 属 および 役 職
会 長	田村 茂人	非常勤	豊栄設備工業(株) 代表取締役
副 会 長	森 玄徳	非常勤	(有)森清浄社 代表取締役
〃	井内 孝明	非常勤	(有)井内開発 代表取締役
専務理事	柰保 恭章	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局長
常任理事	加統 叙男	非常勤	(株)ハウステック 所長
理 事	高尾 武司	非常勤	(株)ユニペック 代表取締役
〃	高橋 良太	非常勤	ニッコー (株) 高松営業所 所長
〃	岩本 英司	非常勤	(株)岩本総業 代表取締役
〃	林 哲郎	非常勤	毎日衛生(有) 代表取締役
〃	福山 佳孝	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 常務
監 事	長地 孝夫	非常勤	公認会計士 長地孝夫事務所 公認会計士
〃	志摩 恭臣	非常勤	朝田啓祐法律事務所 弁護士

4) 職員に関する事項

（令和6年3月31日現在）

職 員 数	入 社	退 社	平均年齢	平均勤続年数
男性	60名	7名	45.1才	14.0年
女性	22名	1名	43.9才	13.5年
合計又は平均	82名	8名	44.8才	13.8年

5) 法令遵守に関する事項

①交通事故

交通事故の発生を抑止するための措置として、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入している。また、道路交通法の改正によりアルコールチェックが義務化されたことから、アルコール検知器を用いて酒気帯びの有無を確認し、安全な運転の確保に務めている。

大きな事故の発生は無いが、未だ不注意による事故を発生していることから、一定以上の事故を起こした職員には教習所での安全運転講習の受講させている。

事 故 内 容		R4年度	R5年度	前年対比
物損事故	任意保険対象外事故	—	37件	—
	任意保険適用事故	10件	7件	▲3
人 身 事 故		0件	0件	0
合 計		10件	44件	34

②個人情報保護

個人情報の不適切な管理を防ぐため、個人情報保護マネジメントシステムに基づき業務を行っている。

- ・個人情報保護に関する事故（1件）

業務で扱う内部の情報が第三者に漏洩する事故が発生。このため、事実確認を行った上で、関係機関への報告、被害者への通知、再発防止策を講じると共に、コンプライアンス研修を行い、職員教育の徹底を図った。

③労務管理上の事故

安全衛生委員会を毎月開催し、労務上の事故防止や職員の健康管理について協議し職員周知・研修等を行った。

- ・労災申請件数（1件）

（前年度： 0件）

6) 内部統制システムの運用状況

理事の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制として、社員総会議事運営規則、入会・退会等に関する規則、役員報酬規則、理事会規則、常任理事会規程、役員等職務権限規程、委員会規程、経理規程、財産管理運用規程、印章管理規程、情報公開規程、公益通報者保護に関する規程等を制定し運用している。

5 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。